

1. 学校のトピックス

- 1.1 学生活動
- 1.2 教育・研究活動
- 1.3 産学連携・地域連携
- 1.4 国際交流
- 1.5 その他

1. 学校のトピックス

1.1 学生活動

1.1.1 プロコンチームが「Imagine Cup 2015」で最優秀賞を受賞し、日本代表に選ばれました

平成 27 年 4 月 11 日(土)に TIAT SKY HALL (羽田空港国際線ターミナル内)で行われた「Imagine Cup 2015 日本予選大会」にプロコンチーム (チーム名:すくえあ)が参加し、最優秀賞受賞、日本代表に選ばれました。

Imagine Cup は、マイクロソフトが主催する世界最大の学生向け IT コンテストで、この大会は世界大会の日本予選を兼ねています。

同チームは、昨年度の高専プロコン出展作品「すくえあ:SCREEN feels AIR」を改良してイノベーション部門に参加し、見事優秀賞(部門賞)を受賞しました。その後、3部門の部門優秀賞作品による公開審査の結果、最優秀賞に選ばれ、7月27~31日に米国・シアトルで行われる世界大会に日本代表として参加する予定です。



プレゼンテーション



デモ会場での交流



イノベーション部門優秀賞



最優秀賞・日本代表

図1 「Imagine Cup 2015」最優秀賞を受賞、日本代表になりました

1.1.2 全国高専体育大会陸上競技において荻田比呂君（棒高跳）が23年ぶりの全国高専新記録で優勝しました

第50回全国高等専門学校体育大会陸上競技（期日：8月29日（土）～30日（日）会場：福岡県博多の森陸上競技場）において、本校詫間キャンパス陸上部の荻田比呂君（電子システム工学科3年）が棒高跳びで23年ぶりの全国高専新記録に当たる4m91で優勝の成績を収めました。

4m40から競技を始めた時は、全ての選手が競技を終えた後であった。1回目の跳躍で優勝を決めた後は、着実にバーをクリアし続けていった。試合を通じて雨が強く、向かい風という悪条件の中にもかかわらず、4m91を最高の跳躍でクリアした。この記録は、今年度のインターハイにおいて7位に相当する記録であった。5mは残念ながらクリアできなかったが、今後につながるパフォーマンスであった。雨の中駆け付けた保護者及び関係者の皆様に、お礼申し上げます。

御声援ありがとうございました。



23年ぶりの高専日本新記録を樹立して全国優勝した荻田君(左端)

図1 23年ぶりの全国高専新記録で優勝しました

1.1.3 全国高等専門学校第26回プログラミングコンテスト競技部門で3位入賞，自由部門で特別賞受賞

平成27年10月11日(日)及び12日(月)に長野高専を主管校として長野県のホクト文化ホールで開催された，全国高等専門学校第26回プログラミングコンテストに両キャンパスから課題部門と自由部門，競技部門に参加しました。

その結果，競技部門で高松キャンパスのチームが3位に入賞，詫間キャンパスのチームが決勝に進出しました。自由部門では詫間キャンパスの「Canvas」が特別賞を受賞しました。今年度は，課題部門は応募43チーム中20チームが予選通過，自由部門は応募65チーム中20チームが予選通過，競技部門は応募60チーム中57チームが予選通過し本選が行われました。

<http://www.kagawa-nct.ac.jp/proconE/procon.html>



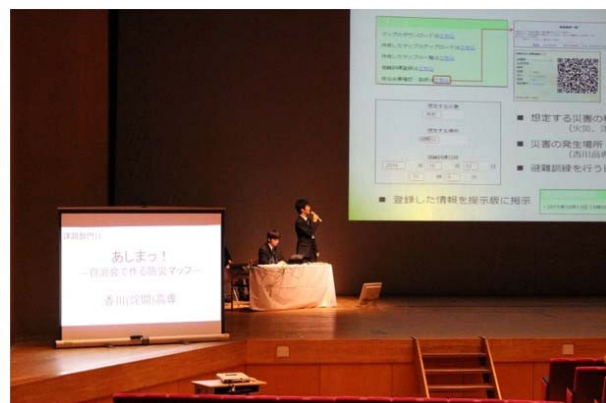
競技部門・第3位(高松)



自由部門プレゼンの様子(詫間)



課題部門プレゼンの様子(高松)



課題部門プレゼンの様子(詫間)

図1 プログラミングコンテスト競技部門で3位入賞，自由部門で特別賞受賞しました

1.1.4 高専ロボコン 2015 全国大会で準優勝しました

11月22日(日)に両国国技館において、「アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2015 全国大会」が開催されました。今年のテーマは、「輪花繚乱」(わっかりょうらん)と名付けられた輪投げ合戦です。

本校高松キャンパスからは、「Beehive (ビーハイブ)」が出場しました。

「Beehive」は、決勝まで、9本すべてのポールに輪を投げ入れるVゴールで勝ち進みました。決勝では、奈良高専「大和」に大きな輪で一気に勝負を決められ、惜しくも優勝は逃しましたが、準優勝と健闘しました。

最後に、国技館まで応援に来ていただいた多数の保護者、同窓生、学生および教職員の皆様に心より御礼申し上げます。

結果の詳細は、下記のリンク先をご覧ください。全国大会の様子は、12月23日(水・祝)午前10:05からNHK総合テレビで放送される予定です。

http://www.official-robocon.com/jp/kosen/kosen2015/result_zenkoku.html



「Beehive」紹介映像



中央のポールを狙う



準優勝受賞の様子



記念写真

図1 高専ロボコン 2015 全国大会で準優勝しました

1.1.5 電子システム工学科2年の松本大河君が第9回高専プレコンのスピーチ部門で2位になりました

1月23日(土)～24日(日)に国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室において、第9回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが行われ、スピーチ部門に出場した電子システム工学科2年の松本大河君のスピーチが第2位に選ばれました。

松本君はノーベル平和賞を受賞したマララ・ユサフザイさんの活動にインスピレーションを受けて「教育とは何か」を考え、それを高専生たちに訴えかけるスピーチを行いました。

当スピーチの内容が評価され、日本国際連合協会の活動の趣旨に沿った、もっとも優れたスピーチを行った出場者に対し贈られる、日本国際連合協会会長賞も同時に受賞しました。



図1 プレコンのスピーチ部門で2位になりました

1.2 教育・研究活動

1.2.1 平成27年度香川高専FD・SD研修会を開催

平成27年9月15日(火)に綾歌総合文化会館アイレックスにおいて全教職員を対象とした「平成27年度香川高専FD・SD研修会」を開催しました。

第6回となる本研修には、約170名の教職員が参加し、はじめに、三宮紀彦公認会計士・税理士事務所代表の三宮紀彦氏を講師に迎え、「公的研究費の不正防止に関するコンプライアンス」に関する研修を実施しました。

三宮講師からは、文部科学省が示す「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」の内容及び、公的研究費を執行するにあたって教職員が遵守しなければならない事項について説明があり、その後、本研修の理解度をはかるテストを行いました。

次に、サクセスブレインズ(株)代表取締役の廣瀬一郎氏を講師に迎え、「キャンパスにおけるメンタルヘルスとハラスメント対策」に関する研修を実施しました。

廣瀬講師からは、メンタルヘルスとハラスメントの現状及びその改善策についての説明があり、快適なキャンパスライフの実現に取り組む上で、教職員としての心構えを再認識することができました。



特別講演「公的研究費の不正防止に関するコンプライアンス」
(三宮紀彦公認会計士事務所代表三宮紀彦氏)



特別講演「キャンパスにおけるメンタルヘルスとハラスメント対策」
(サクセスブレインズ代表取締役廣瀬一郎氏)

図1 FD・SD研修会を開催しました

1.2.2 本校教員の研究が、JSTの「マッチングプランナープログラム」に採択されました

本校教員の研究が、以下のとおり JST「マッチングプランナープログラム」に採択されました。

課題名：分光反射スペクトルと機械学習を用いた露地栽培における生産・品質管理手法の
高精度化

研究責任者氏名：電気情報工学科 准教授 村上 幸一

本研究では、天候の影響を受けやすい露地栽培作物の高精度な生産・品質管理を行うシステムの開発をし、農作物の生産性、品質の向上を図ることを目標としています。

1.2.3 本校職員が国立高専機構職員表彰において「理事長賞」を受賞しました

詫間キャンパス技術教育支援室の垂水良浩技術長が、平成27年度国立高等専門学校機構職員表彰において「理事長賞」を受賞しました。

この表彰は、事務職員、技術職員を対象に、業務改善や教育研究支援等において、特に高く評価できる成果が認められた職員を表彰するものです。

今年度は、理事長賞が2名、若手奨励賞を1名が受賞し、10月16日に東京都千代田区の学術総合センターにおいて行われた表彰式で小畑理事長から表彰を受けました。

垂水技術長は地域貢献活動と、プロコン支援による「ものづくり日本大賞」への貢献、および科学研究費9回採択などの研究活動への積極的な取り組みが高く評価され、理事長賞受賞となりました。



小畑理事長から表彰を受ける垂水技術長



受賞者を代表して挨拶する垂水技術長



図1 本校職員が「理事長賞」を受賞しました

1.2.4 特別講演会を開催しました

平成27年10月21日(水)に、前四国経済産業局長の寺嶋充氏を講師としてお招きし、本校高松キャンパス図書館3階多目的ホールAにおいて特別講演会を開催しました。

講演会には、100名を超える本校専攻科生、本科生、教職員及び香川高専産業技術振興会会員等が出席し、「四国経済の現状と日本経済の再生に向けて」を主題に講演していただきました。

始めに「四国経済の現状」として、最新の四国経済動向の解説、及び四国のニッチトップ企業を紹介いただきました。次に「日本経済の再生に向けて」では、アベノミクスはどのような成果があったのか、また人口減少と地方創生の現状、わが国を取り巻く諸外国の動き、さらに第四次産業革命として主にドイツとアメリカの動きについて、ご説明頂きました。最後に「エネルギーをめぐる情勢」として、日本のエネルギー需給の構造やエネルギー基本計画等についてご解説頂きました。

様々なデータを用いたご講演はとてもわかりやすく、参加者からは「就職の際には大企業に目が行きがちだが、四国にも魅力がある企業がある事がわかった。」、「四国経済を知る良い機会となった。」等の感想が寄せられました。

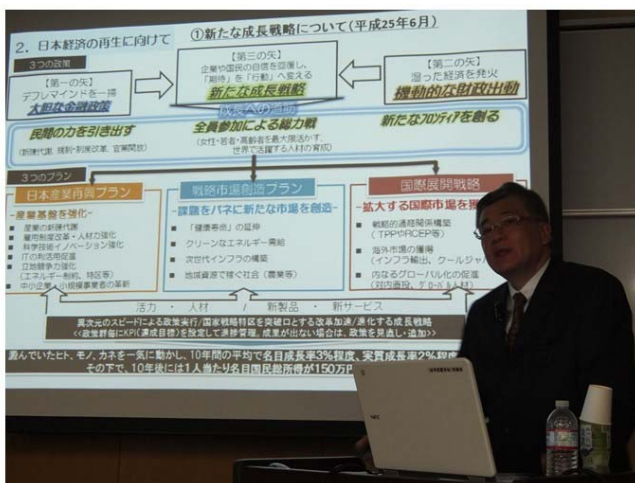


図1 特別講演会を開催しました

1.2.5 「第21回高専シンポジウム in 香川」を開催しました

1月23日（土）丸亀市民会館及び生涯学習センターにおいて「第21回高専シンポジウム in 香川」を開催しました。

このシンポジウムは高等専門学校教職員・学生に対して日頃の教育・研究成果の発表及び相互交流の場として、毎年開催されており、今年度は香川高専を主催校として開催しました。

当日は全国の高専等から約630名の学生及び教職員の参加があり、化学、建築土木、機械、電気・電子、情報・通信等の9分野で口頭・ポスターによる471件の発表がありました。

学生による日頃の研究成果の発表を、参加者は真剣に聞き入っていました。発表後は質疑応答等、活発な討議が行われました。

また、併せて協賛企業展示コーナーや物産展も設け、盛況なシンポジウムとなりました。



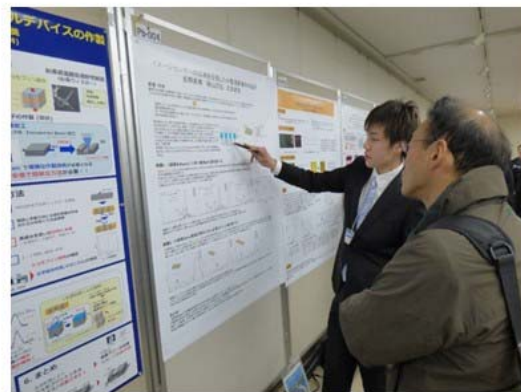
口頭発表を真剣に聞き入る参加者



研究成果を発表する学生



活気あるポスター発表会場



日頃の研究について説明する学生

図1 「第21回高専シンポジウム in 香川」を開催しました

1.2.6 情報工学科奥村講師が優秀研究賞を受賞しました

電子情報通信学会・言語理解とコミュニケーション研究会(NLC)において、本校情報工学科奥村講師が優秀研究賞を受賞しました。NLCでは、毎年1月～12月に開催された全ての研究会での講演者を対象として優秀研究賞を選出しています。奥村講師が2015年6月5日に発表した「オンラインでの振る舞いから想定される人物像の特徴」に関する研究報告が2015年の優秀研究賞に選ばれました。

2016年2月5日～6日にキャンパスプラザ京都において開催された第8回テキストマイニングシンポジウムのオープニングとして表彰式が挙行され、奥村講師には賞状と副賞の図書カード20000円分が専門委員長より贈呈されました(<http://www.ieice.org/~nlc/>)。

今後の奥村講師のますますの活躍に期待します。



奥村講師



会場の様子

図1 奥村講師が優秀研究賞を受賞しました

1.3 産学連携・地域連携

1.3.1 百十四銀行との連携協定に基づく県内企業合同交流会を実施しました

平成27年4月23日(木)に本科機械工学科と建設環境工学科の4年生を対象とした県内企業合同交流会を開催しました。県内から9社の担当者にお越しいただき、企業概要、仕事の内容、高専生が活躍できる可能性、これからのインターンシップや就職に向けてのポイントなどについて、丁寧に教えていただきました。全員が3社のお話を聴講できるように配慮して実施しました。

今回のイベントが第1回の連携協定関連事業として位置付けられており、今後も継続的に地域創成に取り組むことになりました。



会場の様子

図1 連携協定に基づく県内企業合同交流会を実施しました

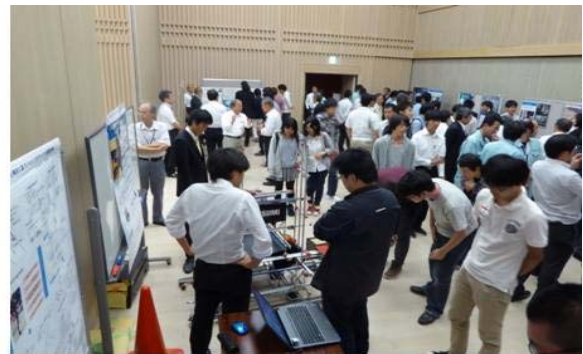
1.3.2 香川県主催の「ロボット技術開発フォーラム」に出展しました

5月22日（金）に、サンポート高松で行われた、かがわ次世代ものづくり研究会ロボット技術分科会「ロボット技術開発フォーラム」に、機械システム研究部のロボット等を出品しました。このフォーラムは、香川県が主催し、香川県産業技術センターにより運営され、県内のロボット関係企業、研究機関や学校が多数参加した、県下で初めて開催されたロボットフォーラムです。

フォーラムでは、国立研究開発法人産業技術総合研究所の知能システム研究部門長の横井一仁氏や、(株)安川電機つくば研究所長の横山和彦氏による講演の他に、企業、研究機関や学校から多くのロボット展示があり、本校からは、機械システム研究部のロボコン2014 四国大会に参加し、大会当時の蒸籠（せいろ）運びの新記録を達成した「ギッシャ」、逸見教員の「鉄棒ロボット」や山崎教員の「トマト収穫ロボット用ハンド」を出品しました。



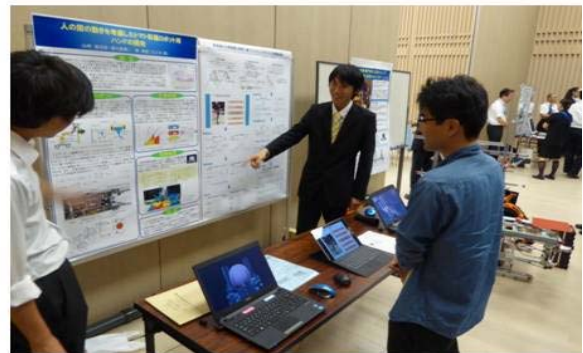
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
四国センター田尾博明所長のご挨拶



展示スペースでの多数の来場者の様子



機械システム研究部員による高専ロボコン2014出場ロボットのギッシャの説明



鉄棒ロボットとトマト収穫ロボット用ハンドの紹介

図1 「ロボット技術開発フォーラム」に出展しました

1.3.3 組み込み総合技術展 関西「ETWest2015」でシーズ展示を行いました

6月10日(水)～6月11日(木)グランフロント大阪 コングレコンベンションセンターで行われた組み込み総合技術展 関西「ETWest2015」ユニバーシティパビリオンにおいて、詫間キャンパスみらい技術共同教育センターが2件のシーズ展示を行いました。

- (1) BGA CMOS ICに適用できる電氣的接合検査法 (通信ネットワーク工学科 小野 安季良)
- (2) 高感度呼吸センサー - 乳幼児突然死症候群:SIDS 防止への応用 -
(電子システム工学科 三崎 幸典)

効果的な展示を行い多くの人にシーズ紹介することが出来ました。実用化に向けて今後も努力して行きたいと思えます。



組み込み総合技術展 関西
Embedded Technology WEST



たくさんの方々にシーズを紹介できました



BGA CMOS ICに適用できる
電氣的接合検査法



高感度呼吸センサー
- 乳幼児突然死症候群:SIDS防止への応用 -

図1 「ETWest2015」でシーズ展示を行いました

1.3.4 香川高専産業技術振興会総会を開催しました

9月17日（木）、リーガホテルゼスト高松にて、第6回香川高等専門学校産業技術振興会総会を開催しました。

総会には、法人会員、個人会員及び香川高専教職員を含めて総勢63名が参加し、平田会長（株式会社ヒューテック相談役）及び八尾校長（香川高専）の挨拶の後、第6事業年度の事業報告・会計報告および第7事業年度の事業計画・予算が提案され、承認を受けました。

今回は、会員企業との共同研究等の活性化を目的としたシーズ発表会、八尾校長による「専門家になりたくない」と題した講演会を企画し、大変充実した内容となりました。



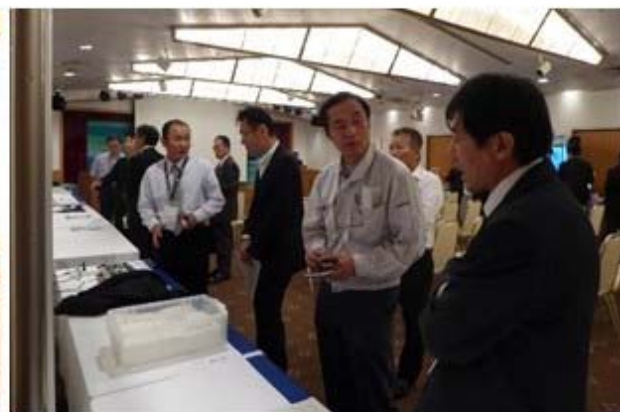
総会での平田会長挨拶



八尾校長の講演



シーズ発表会風景



パネルディスカッション

図1 香川高専産業技術振興会総会を開催しました

1.3.5 「徳島・香川トモニ市場5周年記念マルシェ」で三豊市特産品PR販売と三豊市PRに協力しました

11月7日（土）・8日（日）の2日間、JR有楽町駅前東京交通会館前1階ピロティにおいて、【徳島・香川トモニ市場開設5周年記念マルシェ「秋の大収穫祭」】が行われ、みらい技術共同教育センターは三豊市・香川銀行と連携し出店しました。

ブースでは三豊市内企業の特産品PR販売と三豊市の観光・特産品紹介を行いました。参加学生は特産品PRのためポスターやチラシ、ディスプレイを工夫し、当日は商品の説明を行い販売するほか、試食の仕方や簡単な調理販売(焼きも)を積極的に行い、少しでも自分たちのアイディアで三豊市の特産品を知ってもらおう試みを行いました。



図1 三豊市特産品PR販売と三豊市PRに協力しました

1.4 国際交流

1.4.1 ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校と MOA を締結しました

4月10日(金)、本校の協定校である、タイのラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校(RMUTT)の学長・副学長・学長補佐(国際交流担当)が来校しました。RMUTTとは昨年8月に包括的学術交流協定(MOU)を締結しており、今回は学生交流実施細則の覚書(MOA)を締結するにあたり、本校にて調印式を挙行了しました。その後、学長らは高松キャンパス内の施設を見学しました。

また、同日からRMUTTの学生(6名)を本校へ受け入れて、約3週間のグローバルエンジニア研修受入プログラムの「ミニロボットの開発」に取り組んでいます。



MOA調印式

RMUTT 学生(下段)と両校関係者

RMUTT プレサート学長(左)と本校八尾校長(右)

図1 ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校と MOA を締結しました

1.4.2 タイ留学生が3週間の短期受入プログラムを修了しました

4月10日(金)から30日(木)までの3週間、タイのラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校(RMUTT)の学生6名が、本校のグローバルエンジニア研修受入プログラムに参加し、ブロックを積み上げるアームロボットの開発に取り組みました。また、プログラム期間中に詫間キャンパスを訪問し、施設見学や製作実習体験を行いました。

4月29日、本校機械システム研究部が主催するロボット競技会に、タイ学生が出場しました。競技会は、同研究部の学生20名も含む、全26のアームロボットによるトーナメント制で繰り広げられました。タイ学生のうち4名は1回戦を突破して2回戦へ進みましたが、いずれも準決勝に進むことはできませんでした。しかし、うち1名は全体で第2位の高得点を挙げるなど、構造面で斬新に設計されており、同研究部の学生にも良い刺激を与えたようでした。プログラム最終日には、ミニロボット開発に関する最終報告会が実施され、それぞれがロボット名の由来やアピールポイントなどについて英語でプレゼンテーションしました。

プログラム最終日には、ミニロボット開発に関する最終報告会が実施され、それぞれがロボット名の由来やアピールポイントなどについて英語でプレゼンテーションしました。最後に修了式を執り行い、本プログラムは修了しました。



製作体験 (詫間キャンパス)



集合写真 (詫間キャンパス)



ロボット競技会



ロボット競技会



修了書授与



最終報告会

図1 短期受入プログラムを修了しました

1.4.3 学生らが国際会議 EMSES2015 に参加し、特別研究の成果発表をしました

6月11日～13日にタイで開催された国際会議”Eco-Energy and Material Science and Engineering Symposium: EMSES2015”に本校校長と教員2名、専攻科生2名が参加しました。本会議は、本校の協定校であるラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校(RMUTT)が主催する「エコなエネルギーと材料」に関するシンポジウムであり、本校教員は招待講演者として、学生は一般発表の部で特別研究の研究成果を発表しました。

参加した学生は、本校で毎週開いている「技術英語セッション」において事前に何度も特訓しており、うち2名は過去にも国際交流活動に参加経験があることなど場馴れがあり、堂々とした発表ができました。その効果があり、阿河克明君(創造工学専攻1年)は、各トピックスの発表者から1名を表彰する優秀発表賞”The Best Paper Award in Smart Innovations for future life”を受賞しました。研究発表以外にも、本会議に参加した様々な国からの学生らと意見交換しながら、互いに交流を深めていました。

本校国際交流室は、国際的に活躍できる技術者の養成に向けて、今後も学生の国際交流活動を推進していきます。



本校からの出席者



教員による講演



学生による発表



優秀発表賞を受賞した阿河君(右)

図1 国際会議 EMSES2015 に参加しました

1.4.4 クライストチャーチポリテクニク工科大学 (CPIT) 附属語学学校で海外語学研修を行いました

8月15日から9月13日にかけて、本科3～5年生の6名（高松キャンパス3名，詫間キャンパス3名）がニュージーランド（NZ）のクライストチャーチポリテクニク工科大学（CPIT）附属語学学校で海外語学研修を行いました。今回のNZでの海外語学研修は3回目の開催となります。

研修は国際コミュニケーション能力の育成を目的にCPIT附属の語学学校において英語を集中して勉強するプログラムで、各国からの留学生と共にそれぞれのレベルに応じたクラスで学びました。

授業は少人数クラスで、その目的は言語活動を通じて発話を促すことでした。最初、学生たちは授業形式の違いと他国の学生たちの積極性に圧倒されていましたが、徐々に発言するようになり、英語での意思疎通の難しさと通じた喜びを学びました。

宿泊はホームステイで、学生たちは文化の違いに戸惑い、英語での意思疎通に苦労しながらも、NZの生活に慣れていきました。



図1 海外語学研修を行いました

1.4.5 国際会議 InCIEC2015 に参加しました

9月21日～22日、マレーシアのシャーアラムにてマラ工科大学の主催で土木工学と社会資本整備に関する国際会議（InCIEC2015）が開催され、本校から専攻科学生3名と建設環境工学科教員2名が参加しました。

本年度の会議テーマはグリーン・マテリアルであり、本校からは排水処理、廃棄物有効利用に関わる学生の研究発表と教員の基調講演を行いました。発表者の中から長町晃宏君に優秀論文賞（環境分野）が贈られ、特別研究への日頃の取組みが認められる機会になりました。

本会議では、講演と発表セッションを通じて有意義な学術交流が行われました。また、会議後に訪問したマラ工科大学国際交流事務所との情報交換を通じて、今後も両校の学術交流を推進する方針を確かめました。



発表セッション終了後の記念撮影



ザホール学長を中心に全員で記念撮影



優秀論文賞の表彰式（右から3人目が長町君）



国際交流事務所を訪問

図1 国際会議 InCIEC2015 に参加しました

1.4.6 フランス・トゥール大学と学術交流協定(MOU)を締結しました

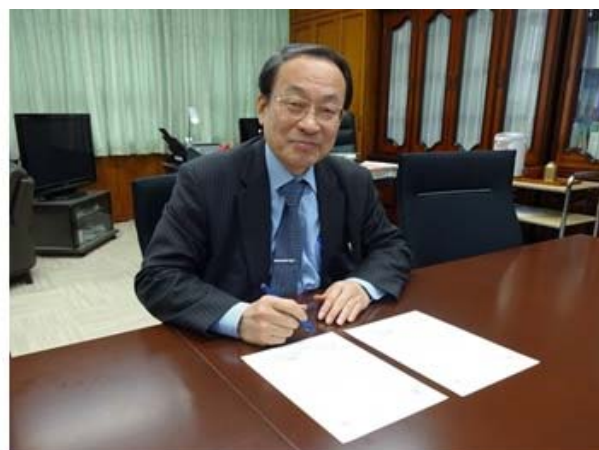
12月12日にトゥール大学ブワ技術短期大学部(フランス)の国際交流室長が本校を訪問しました。高松市とトゥール市は、1988年に姉妹都市提携を締結しています。このことが縁で、本校とトゥール大学間で学術交流に向けた情報交換を進め、学術交流協定(MOU)を締結する準備をしていました。

本校で行われたミーティングには、本校国際交流室の小竹室長をはじめ室員ら、来校したトゥール大学ブワ技術短期大学部のファーマー室長、さらにインターネット会議システムを用いてトゥール大学ブワ技術短期大学部のパトリック部長も参加し、両校の紹介を行った後、今後の具体的な交流内容について協議を行いました。

ファーマー室長はトゥール大学ヴァイヨン学長により署名された学術交流協定書を持参しており、それを小竹国際交流室長が出張中の本校八尾校長に代わって受け取りました。そして、12月21日に八尾校長が署名を行い、トゥール大学とのMOUの締結が完了しました。今後は、学生と教職員の派遣と受入を進めていきます。



ファルマー室長(右)から協定書を受け取る小竹室長



協定書に署名する八尾校長

図1 トゥール大学と学術交流協定(MOU)を締結しました

1.4.7 本校学生が高専機構主催の国際会議に出席しました

8月4日から11日にかけて、マレーシアのマラ工科大学のシャーアラム・キャンパスにて、「持続可能な社会構築のための科学技術」に関する国際会議（ISTS2015、主催：国立高等専門学校機構）が開催され、本校学生が参加しました。

期間の前半では、学生の研究成果を発表するセッションがあり、本校から出席した甲斐一穂さんと真鍋征也君（電子情報通信工学専攻）の2名が口頭発表を行いました。

後半では、身近な課題に対して解決策を議論する4日間のワークショップが行われ、現地学生や成果発表した学生、さらにリーダー育成として各校から推薦された学生（本校から田中聖也君（電子情報通信工学専攻）と斎藤楽君（創造工学専攻）が参加）らが参加しました。海外の学生を含むグループ毎に別れて市内を散策しながら、課題を発見し、その解決策を議論しました。

最後に議論をまとめて発表しました。斎藤君のグループは、小学校周辺での環境改善に関する課題に取り組み、全参加者による投票で「The Best Presentation Award」を受賞しました。



口頭発表



本校からの参加学生



口頭発表

フィールドワーク
(インタビュー形式による地域の課題探索)

Best Award 受賞

ワークショップ
(課題解決策のグループ討論)全体写真
(会議を終えて)文化交流
(“Cultural Night”)

図1 高専機構主催の国際会議に出席しました

1.4.8 本校教員が国際会議 ISFT 2016 で基調講演を行いました

2016年1月18日(月)～23日(金)に、科学技術融合学会が主催する「第5回科学技術の融合に関する国際会議(5th International Symposium on Fusion for Science & Technology: ISFT 2016)」がインドのニューデリーにある国立農業科学センターで開催され、本校教員2名が招待されて基調講演を行いました。

本会議は科学技術の融合を目指し、多分野の研究者が一同に会する国際会議です。

伊藤准教授(機械工学科)は「熱的に不安定な微細結晶粒アルミニウムの粒界すべりとソリュートドラッククリープは共存可能か?」、草間講師(通信ネットワーク工学科)は「マイクロ波導入実験のためのリアクタンス素子設計に関する一検討」というタイトルでそれぞれ講演を行いました。

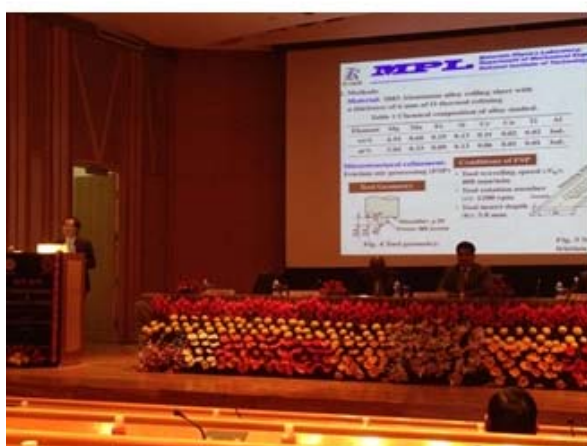
また、会議後に企画されたテクニカルツアーでは、周辺の歴史遺産などを訪問しながら、他国の出席者らと学術交流を行いました。



パネルディスカッション



草間講師の基調講演



伊藤准教授の基調講演



パネルディスカッション

図1 ISFT 2016 で基調講演を行いました

1.5 その他

1.5.1 平成27年度 香川高等専門学校入学式を挙りました

4月6日(月)丸亀市内の綾歌総合文化会館アイレックス大ホールにおいて、香川高等専門学校の第6回入学式を挙りました。

入学式では、本科生289名、転入学・編入学生2名、留学生3名及び専攻科生60名の計354名の名前が一人ずつ読み上げられ、八尾校長から入学が許可されました。

八尾校長から「全ての学生諸君は、将来の日本、ひいては地球社会全体を支える技術者として独り立ちするという明確な使命を有しています。初心・意気込みを忘れることなく、心身ともに充実した学生生活を過ごされることを願っています。」との式辞が述べられた後、三豊市長から祝辞を賜り、その後、本科入学生代表、専攻科入学生代表による宣誓があり、最後に校歌斉唱を行いました。

式には同窓会会長、後援会会長にもご臨席いただき、保護者、教職員とともに新入生の新しい門出を祝いました。



図1 香川高等専門学校入学式を挙りました

1.5.2 合同大学説明会(9大学)を開催しました

平成28年1月30日(土)に専攻科1年生及び本科4年生の進学希望者を対象とした合同大学説明会を開催しました。

講師には、大屋准教授(徳島大)、寺井准教授(九州工業大学)、三好講師(高知大学)、三木准教授(香川大学)、沖野准教授(東京工業大学)、金澤准教授(豊橋技術科学大学)、宮崎准教授(長岡技術科学大学)、杉山教授(岡山大学)、甲斐准教授(愛媛大学)の9名を迎え、大学の研究、編入学における単位互換制度や編入試験の詳細や対策について説明して頂きました。

また、説明会終了後に希望者には個別面談を行って頂きました。進学希望者にとって有益な情報を得られる貴重な説明会となりました。



図1 合同大学説明会(9大学)を開催しました

1.5.3 外部評価委員会を開催しました

1月29日（金）に外部評価委員会を開催しました。同委員会は、香川高専の一層の発展・充実のため、同校の教育研究活動の在り方について評価及び助言を行い、自己点検評価に関する活動を支援することを目的として開催しているものです。

委員会には、地元の大学、市、中学校や地域企業からの外部有識者9名の委員が出席し、本校からは八尾校長をはじめ、高松、詫間両キャンパスの副校長、各主事及び学科長ら26名が出席しました。

委員会は香川大学工学部長が委員長を務め、八尾校長の挨拶に続いて、木原副校長から「本校を取り巻く現状と改革」、及び「自己点検評価」について、八尾校長から「香川高等専門学校将来構想」についての説明が行われました。

各外部評価委員からは、本校の取組に対して貴重な意見や提言が数多く出され、本校では、これらを今後の学校運営の改善に反映することとしています。



外部評価委員会の模様



挨拶する八尾校長(中央)

図1 外部評価委員会を開催しました

1.5.4 合同企業説明会を実施しました

平成28年3月23日(水)、24日(木)本校体育館において専攻科1年生および本科4年生を対象とした合同企業説明会を開催しました。高松キャンパスは23日、詫間キャンパスは24日に実施しました。

本合同企業説明会は、平成17年度に初めて開催して今年で10回目を迎えます。県内外から高松キャンパスには104社、詫間キャンパスには72社の企業にお越し頂きました。

初春のまだ肌寒い季節にも関わらず両体育館は採用担当者と学生の意欲で熱気を帯びていました。参加学生は、志望する企業ブースを次々に訪問し、真剣な面持ちでメモを取りながら担当者の説明に耳を傾けていました。本説明会は、主に香川県内企業で構成される香川高専産業技術振興会会員企業様にもご協力を頂いています。

企業担当者との面談が学生にとって有意義な経験となり、今後の就職活動に活用されることを期待しています。



高松キャンパス



詫間キャンパス

図1 合同企業説明会を実施しました

1.5.5 第7回卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を挙りました

平成28年3月17日(木)、第7回卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式が綾歌総合文化会館において挙行されました。

式では校長から各学科の代表者に卒業証書、各専攻の代表者に修了証書・学位記が授与されました。校長式辞に続き、ご来賓の高松市長と総務省四国総合通信局長から御祝の言葉が述べられ、厳粛な雰囲気の中で式を終了しました。

式には多くのご来賓にもご臨席いただき、保護者、教職員とともに卒業生・修了生の新しい門出を祝いました。



図1 第7回卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を挙りました